

タカラバイオ遺伝子治療研究支援grant

第8回・平成29年度 遺伝子治療研究奨励賞（タカラバイオ賞 2017）

趣旨：遺伝子治療の研究開発の推進および遺伝子治療技術の普及と日本遺伝子細胞治療学会（JSGCT）活性化のため、顕著な研究成果を上げた若手研究者（45歳迄）に対して、「遺伝子治療研究奨励賞（タカラバイオ賞）」を授与して顕彰すると共に、さらなる研究の発展を期待して研究助成を行う。

<表彰等>

- ・JSGCT 学術集会総会において理事長が表彰すると共に、副賞（研究助成金）を授与する。
- ・研究助成金額：1,000,000円
- ・JSGCT 学術集会において受賞講演を行う。

－ 公募・選考方法 －

1. 応募資格

- ・応募締切の時点で会員歴1年以上のJSGCT(旧JSGT)正会員で国内の公的研究機関に所属する研究者で研究活動に従事する者「常勤・非常勤は問わず」(※) 大学院生、学生、企業に所属する研究者は除く。
但し、企業から派遣されている研究者は対象外として、寄附講座・社会連携講座・共同研究講座などの研究者も対象として認める。
- ・申請時において45歳以下である者。

付記：申請者が受け入れ、助成金の取扱は所属施設の規則に従う。

申請者が就職した場合は、所属していた研究室が助成金を受け入れる。

- ・JSGCT 学術集会開催の前年（今年の場合はJSGT2016年次学術集会）に発表した遺伝子治療関連の原著論文の筆頭著者（あるいは同等のcontributionと記載された共著者）

付記：前年(昨年)にアクセプトされた論文で、印刷されていなくても電子版に出ればよい。

(※)一昨年に電子版に出て、昨年に掲載された論文の場合、どちらの年に応募してもよいことになるが、1回しか応募できません。

2. 応募方法：規定の申請書に必要事項と所属部署の責任者による推薦文を記入し、JSGCT事務局に審査対象の論文と共に提出する（電子メール送信）。また、同一部署からの推薦は1件に限る。
3. 公募方法：JSGCT ホームページで公募する。評議員にはメールで通知する。
4. 提出書類：申請書、及び審査対象となる原著論文のPDFファイル。
5. 提出期限：2017年4月17日(月)～5月19日(金) 期限厳守。(※) 締切延長はありません。
6. 選考方法：JSGCT 理事が下記の方法により審査し、1名を選出する。
7. 経理報告書と研究成果報告書：1年後に提出する。

申請書に記載する内容

- ・氏名（署名捺印）、生年月日と年齢、所属、職名
- ・所属先住所、連絡先
- ・略歴（学歴・研究歴）
- ・所属部署の責任者（氏名・役職）による推薦文と署名捺印

- ・研究テーマ
- ・審査対象の原著論文（タイトル・著者名・雑誌名・ページ・発表年）
- ・研究成果（審査対象の原著論文の内容を中心とした研究成果を1,200字程度）
- ・本研究の学術的特色と独創性及び発展性（600字程度）
- ・今後の研究計画（今後1年間とそれ以降に分けて、全体で1,000字程度）
- ・研究助成金の支出内訳（100万円の支出内訳の概略を記載する）
- ・研究業績（原著論文、総説論文、学会発表）

審査方法

- ① 理事が審査員を務める。但し、関係者が応募している場合は審査に加わらない。理事総数のうち、最低でも過半数が審査できる場合を有効とする。過半数に満たない場合は、監事（2名）にも審査を依頼できる。（それでも審査員が不足する場合は、対応策を理事会で協議する。）
- ② A 評価対象論文の内容、B 研究実績、C 今後の研究計画を評価する（Aをメインに、B,Cも考慮した総合評価）。
- ③ 各審査員は上位から3番までを選び、1番を3点、2番を2点、3番を1点とする。合計点で順位を決め、第1位を選出する。同点の場合は、決選投票を行う。

▶公募書類提出方法：電子メール/添付でお送り下さい。

電子メール：JSGCT事務局 事務部門 Email:jsgt@js9.so-net.ne.jp

提出締切日：2017年5月19日（金）

締切延長はありませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：日本遺伝子細胞治療学会（JSGCT）事務局 事務部門まで Email でお問い合わせ下さい。

Email:info@jsgt.jp 又は JSGCT事務局本部 <jsgt@js9.so-net.ne.jp>

以上

日本遺伝子細胞治療学会

理事長 金田安史

副理事長：小野寺雅史、藤堂具紀、森下竜一

同・事務局本部 事務局長 谷憲三朗

副事務局長：大橋十也、大津 真